

A photograph of the Golden Gate Bridge in San Francisco, California, viewed from a low angle. The bridge's red-orange towers and suspension cables are prominent against a blue sky with scattered white clouds. The water of the bay is visible in the foreground, with a few sailboats. The overall scene is bright and clear.

専門インターンシップ 活動報告

経済学部国際経済学科 3年 小野萌奈

自己紹介



3

Vanilla

Strawberry

Orange

Rocky Road

Vanilla

Bubblegum

Rainbow Sherbet

Pistachio

Walnut banana

小野 萌奈 オノ モエナ
経済学部 国際経済学科 3年

- ・ 高校2年
ニュージーランドに2週間の語学研修
- ・ 大学1年前期
大学2年の後期から、長期で留学することを決意
TOEFLの学習開始
- ・ 大学1年後期
多摩平の国際寮に入寮
- ・ 大学2年前期
GFLPを履修
- ・ 大学2年後期～大学3年前期
認定留学
アメリカ カリフォルニア州立大学チコ校
専門インターンシップ



なぜアメリカなのか？



自分にとって、大学とは社会に出たときに必要となる力を身に付ける場所、時間である

→その力とは、世界中のどんな人とでもコミュニケーションがとることができる力

→そのためのツールである英語はもちろん必要

→その上で、異なったバックグラウンドをもつ人とどれだけコミュニケーションをとることができるか

→移民でできている国アメリカであれば、様々なバックグラウンドをもつ人と出会えるのではないか

→さらに、アメリカの大学では、グループプロジェクトやグループディスカッションが多くあることから、大学の授業システムもコミュニケーション能力向上につながるだろう



認定留学

In アメリカ カリフォルニア州立大学チコ校

2018/8/20-2019/6/20

アメリカに長期留学を決めた理由

- 1、アメリカ英語を身に付けるため
- 2、日本とは大きく異なる国に行きたかったから
- 3、憧れだったから
- 4、長期留学で社会に出ても通用する生きた英語力を身に付けたかったから
- 5、コミュニケーション能力向上のため



専門インターンシップ

In One Mobile Projector Per Trainer
(OMPT)

2019/5/20-2019/6/8

留学期間中に、専門インターンシップ応募を決意した理由

- 1、自分の英語力が学校以外の場所（社会）でどのくらい通用するのかを試したい
- 2、日本とは違うインターンシップシステムを持つアメリカでインターンシップの経験をしたい
- 3、自分が過ごしたChicoでより長く過ごしたい

専門インターンシップを行った経緯と時期

【2年前期】

- ・ GFLP履修
- ・ 認定留学確定
- ・ 留学中にインターンシップすることを考え始める
- ・ 専門インターンシップについて知る

【2年後期】

- ・ GFLPで評価Aを取得
- ・ 留学中（3年前期）に専門インターンシップ科目を履修することを決意

【3年前期】

- ・ 専門インターンシップ応募
- ・ 専門インターンシップ履修

専門インターンシップを行うまでの流れ

- ・2019年4月、プログラムに応募

(応募要件：ES (英語)、GFLPでA評価)

※GFLP…週1回ネイティブの教授と少人数のクラスで行われるクラス。全て英語。決められたテーマについて学生がプレゼンテーションし、そのあとに全員でディスカッションをする授業スタイル。エッセイの課題もあり。

※GFLPを履修するために、TOEFLかIELTsのスコアが必要

- ・5月～

企業探し。どのような企業でインターンシップを行いたいかを具体的に考え始める。

OMPTと交渉。承諾の返事を受ける。

インターンシップ開始

OMPTとは

ビデオ技術を使って、世界の貧しい人々を助けている
NPO団体

具体的な業務内容

1、人々の訓練

現地のスタッフをトレーニングして、後発国の人々、特に田舎の地域の人々の行動を変化させるためにビデオ技術が有効であるという実践的なワークショップを行う。

2、ビデオ器具の取り扱い

ビデオ器具を実際に提供し、使い方やビデオの作成方法、編集方法を教える。ビデオ器具はどこでも、電気なしの場所でも使うことができるようにデザインされている。

3、サポート

ワークショップ終了後も継続して、能力開発のサポートを提供。



インターンシップ内容

ホームページに載せる記事の作成

テーマは自由

担当者とやり取りをしながら、修正を重ねていく

自分が授業で習った知識を使って作成

意見や主張をOMPTの理念を結び付けるようにする

→なぜビデオ技術が開発支援に有効なのか

OMPTでインターンシップの承諾を得るまで

・2019年4月

授業にゲストスピーカーとしてOMPTの方が来てくださった

→連絡先を聞き、ぜひインターンシップをしたいという思いを伝える

・5月

インターンシップを募集しているという返事がもらえ、メールで募集要項をもらう

→募集形態はFull timeでインターンシップ期間は6か月間以上と書かれている

(本来であれば、この時点で申し込めない。)しかし、私は留学生で日本に帰らなければならないので、たった2週間しかインターンシップはできないが、インターン生として何かさせてもらえないかという気持ちを込めたcover letter と resume を送る。

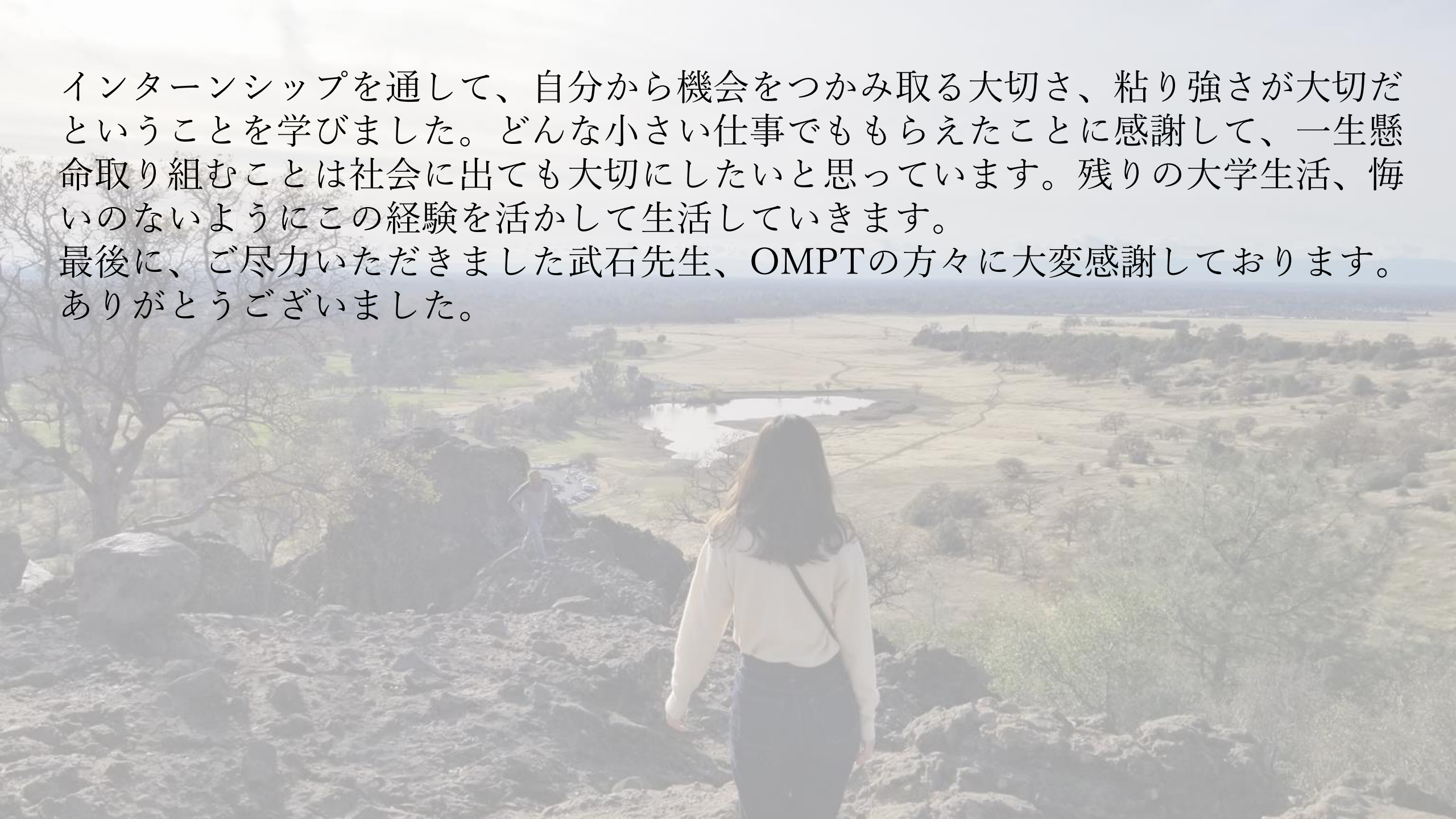
メールの返事をしばらくもらうことができない

→直接企業訪問し、担当者と話す。たった2週間でできることはないと言われる。あなたのそばについて回るだけでもいいからアメリカの会社での経験をさせてほしいとダメ押し。すると、記事の作成ならしてもらえたら助かるという返事をもらうことができた。

この交渉が一番苦労しましたが、この経験から自分の気持ちを相手にアプローチする大切さを学びました。

インターンシップを通して、自分から機会をつかみ取る大切さ、粘り強さが大切だということ学びました。どんな小さい仕事でももらえたことに感謝して、一生懸命取り組むことは社会に出ても大切にしたいと思っています。残りの大学生活、悔いのないようにこの経験を活かして生活していきます。

最後に、ご尽力いただきました武石先生、OMPTの方々に大変感謝しております。ありがとうございました。



ご清聴ありがとうございました。

